

第2回ハンセン病問題をテーマとした卒論・修論等合同発表会

趣旨

2001年のハンセン病国賠訴訟熊本地裁判決以降、ハンセン病問題への関心の高まりもありハンセン病をめぐる諸問題を研究テーマに選び、卒論・修論を書いている学生・院生はそれ以前と比べて増えています。とはいえ大学内、ましてや研究室内で同じハンセン病をテーマにしている学生・院生が多くいるわけではなく、指導教官も含めてハンセン病を専門分野にはしていないケースが多くあります。

同じハンセン病問題をテーマに選んだ学生・院生同士がそれぞれ発表しあうことで刺激しあい、社会に出た後でのハンセン病問題への問題意識の深まりや、修士論文・博士論文準備への何らかの助言になればとの趣旨から「ハンセン病問題をテーマとした卒論・修論等合同発表会」（略称：卒論発表会）を開催します。

第1回は2007年2月に多磨全生園で開催し、20名が参加されました。

日時・場所

2009年2月21日（土）午後3時～6時多磨全生園・中央集会所（仮）

報告者募集要項

- 報告人数：4～5名
- 報告時間：1人20分。および質疑応答10分。
- 報告者は下記に該当するかたをお願いしたい。
 - ・今春卒業予定の学部学生のうち、ハンセン病をテーマに卒業論文・卒業研究・卒業制作等を行った人。
 - ・大学院生のうち、修士論文を提出（または今春提出予定）した人。
 - ・大学院生のうち、修士論文にむけて中間発表を行ったか、行う予定の人。
- 参加経費：参加にかかる交通費等は原則自己負担でお願いします。遠方からの報告希望者は交通費補助を検討します。

参加費

報告者、聴講者ともに参加無料

参加申し込み

- 報告者：2月10日まで [青年学生部会](#)までメールでお申し込みください。
- 聴講者：できる限り前日まで [青年学生部会](#) にメールで聴講申込をしてください。座席準備の関係で人数把握が必要です。予定が明確でないかたは当日いきなりの参加も構いませんので、多くのご参加を呼びかけます。

主催

ハンセン病市民学会・青年学生部会事務局：由井久志 電話090-8372-3286メール hansen-asahikawa@mbj.nifty.com